



2022年8月15日

各位

会社名 株式会社ビューティ花壇
 代表者名 代表取締役社長 舛田 正一
 (コード: 3041 東証スタンダード)
 問合せ先 専務取締役経営管理本部長 三島 まりこ
 (TEL. 096-370-0004)

**連結業績予想値と実績値との差異及び個別業績の前期実績との差異
 並びに剰余金の配当に関するお知らせ**

当社は、2022年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日)通期決算における、2021年8月16日に公表した2022年6月期の連結業績予想と、本日公表の実績との差異及び個別業績における前期実績値との差異につきまして、お知らせいたします。

また、2022年8月15日開催の取締役会において、2022年6月30日を基準日とする剰余金の配当について、2022年9月28日開催予定の第26期定時株主総会に付議することを決議しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績値との差異

①2022年6月期通期連結業績予想と実績の差異(2021年7月1日～2022年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,600	百万円 50	百万円 80	百万円 50	円 銭 12.35
実績値(B)	5,857	103	128	86	21.32
増減額(B-A)	257	53	48	36	
増減率(%)	4.6	107.4	60.6	72.6	
(参考) 前期連結実績 (2021年6月期)	5,348	△27	100	81	20.20

②差異の理由

売上高につきましては、各事業ともにこれまで続いていたコロナ禍の影響から総じて回復基調にあったことに加え、生花卸売事業において円安の影響により販売単価が上昇したこと等から、予想を上回りました。利益面につきましては、生花卸売事業において輸入コスト高騰の影響により利益率は下がったものの、その他の各事業において売上拡大策が奏功したことから当初計画を上回る結果となりました。2022年6月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による当社業績への影響を合理的に見積もることが非常に困難であったことから、本日の開示となりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異

①2022年6月期個別業績と前期実績値との差異（2021年7月1日～2022年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A）	百万円 2,449	百万円 △88	百万円 39	百万円 46	円 銭 11.42
当期実績値（B）	2,560	△37	67	53	13.11
増減額（B-A）	110	51	28	6	
増減率（%）	4.5	—	73.5	14.9	

②差異の理由

売上高につきましては、生花祭壇事業においてコロナ禍の影響から総じて回復基調にあったこと、利益面では売上増加に加え、販管費の効率化策が奏功したこと等により増加いたしました。

3. 剰余金の配当について

①2022年6月期配当

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月16日公表)	前年実績 (2021年6月期)
基準日	2022年6月30日	同左	2021年6月30日
1株当たり配当金	8円53銭	6円17銭	—
配当金の総額	34,526千円	—	—
効力発生日	2022年9月29日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

②理由

当社は、健全な財務体質を堅持するため持続的な成長に必要な十分な株主資本の水準を保持し、企業価値向上と株主の皆様への利益還元のバランスを最適化することを基本に、原則として連結配当性向50%を目安とするを基本方針としております。

上記に基づき、本日開示いたしました2022年6月期の業績及び会社法で定められている配当に必要な分配可能額を踏まえ、1株当たり期末配当金を8円53銭とすることといたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
2022年6月期	—	8円53銭	8円53銭
2021年6月期実績	—	—	—

以上